

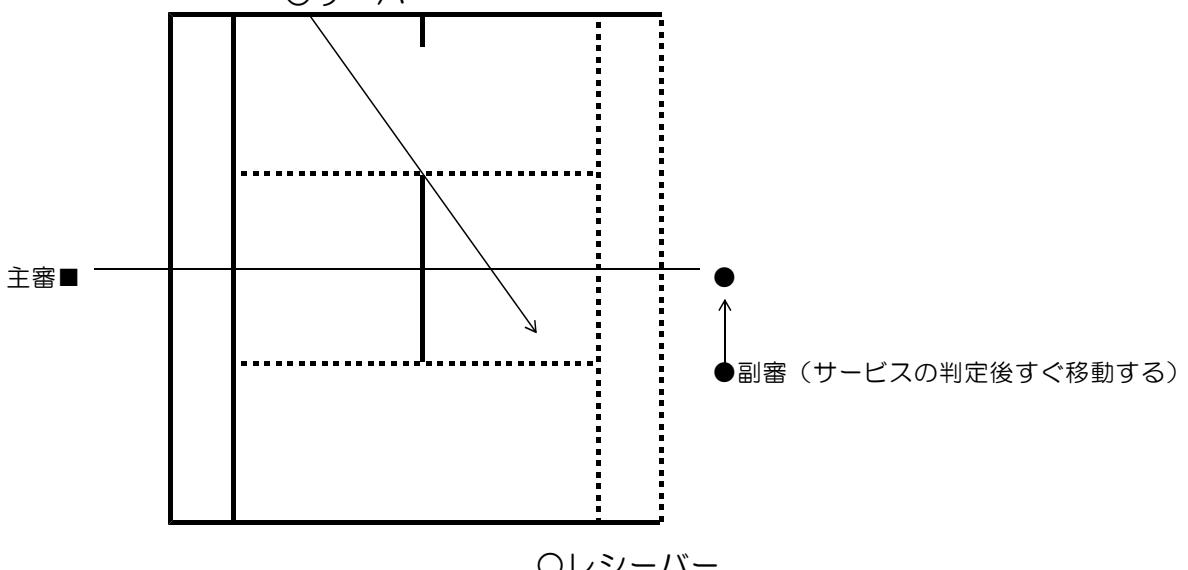
県大会審判必携 (縮小版)

千葉県高体連テニス専門部

- 1) 選手より早くコートに入るように心がける。
- 2) 第三者の立場で公正・正確な判定をする。
- 3) 大きな声で明確な判定をする。あやふやな態度はとらない。
- 4) 選手・監督の判定に対する抗議には、毅然とした態度で臨む。自分の判定を告げるのみ。主審は「Let's Play」と選手に告げる。20秒ルールを適用する。
- 5) 選手・監督の抗議によって判定を覆してはならない。
- 6) ジャッジミス・コールの訂正も堂々と行う。決してごまかそうとしないこと。「Correction, The ball was good. Let, first service.」「Out (fault)」
- 7) 選手の挙動に惑わされないこと。ジャッジを下すのは審判である。
- 8) 線審は選手の質問には、手のひらを主審に向けて「主審に質問してくださいの意を表す」だけとし、一切言葉を交わさないこと。主審の質問にのみ返答すること。
- 9) 4面に1人口ービングアンパイアの先生が見ています。何かトラブルがあったら、手を上げて呼ぶこと。(個人戦のみ)

1 2人制審判方法 (役割・配置・判定ライン)

○サーバー



■主審の役割 判定ライン

- ①スコアのアナウンス、スコアカードの記入
- ②ベースラインの判定、フットフォルトの判定
- ③サービスサイド・センター・ラインの判定
- ④主審側のサイドラインの判定
- ⑤レット・ファウルショット・タッチ等のコール
- ⑥線審の明らかなミスジャッジに対するオーバールールの適用
- ⑦20秒・90秒ルールの徹底
- ⑧スコアプレートの数字を変更する。(スコアプレート管理) ※スコアプレートを用意できる場合

●副審の役割 判定ライン

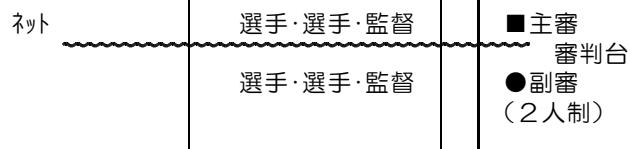
- ①サービスラインの判定
- ②サービスを判定後、ポール横にムービング
- ③副審側のサイドラインの判定 (ベースラインのジャッジは決して行わないこと)
- ④主審を補佐する。(ポール管理)

2 プレマッチミーティング

① 《団体戦開始時の挨拶》

1 「試合前の挨拶を行います。サービスラインにお並び下さい。」

- ダブルスのコートで行う。挨拶はそのコートの担当審判員で実施する。
- 基本的に、番号の小さい学校が左側のコートに入り、整列する
- 審判員整列の仕方は右図の通り



2 「ただいまより、男子（女子）団体1回戦、A高校とC高校の試合を行います。礼。」

- 監督と選手が全員揃ってから。

3 「ネットの前までお進み下さい。」

4 「監督の先生はオーダー用紙の交換をお願いします。」

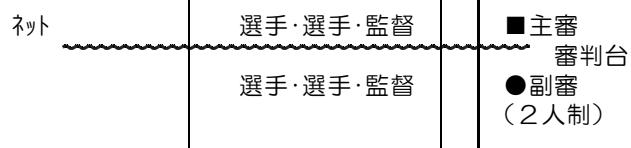
5 「監督の先生は、ダブルス・シングルス1・シングルス2の順に、選手の紹介をお願いします。」

6 「ありがとうございました。引き続き試合を行いますので、選手は準備をしてコートに入って下さい。」

7 「これで試合前の挨拶を終わります。礼。」

② 《試合開始時の挨拶（団体戦の各試合及び個人戦）》

- 基本的に番号の小さい選手が左側のコートに入り、整列する。
- 審判員整列の仕方は右図の通り



1 「ただいまより、男子（女子）シングルス1回戦、A高校a選手とC高校c選手の試合を行います。主審は〇〇高校の〇〇です。よろしくお願いします。」

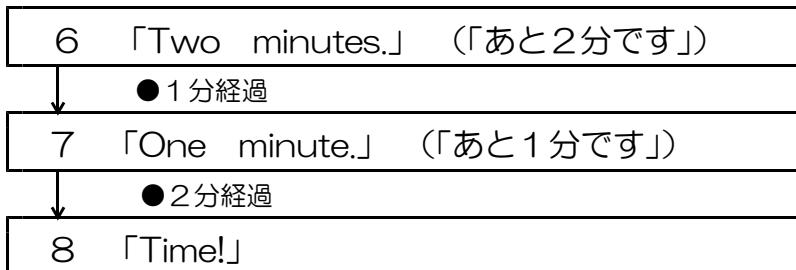
2 「A高校のaさんですか？（ダブルスでは：bさんですか？）」「C高校のcさんですか？（ダブルスでは：dさんですか？）」

- 選手が服装規定を守っているか確認する。
- 名前と顔が一致するように、特徴（ウェアの色・背・眼鏡等）をスコアカードにメモする。

3 「試合は1タイブレークセットマッチです。」

4 「ウォームアップはサービスを含めて3分です。それでは、トスを行います。」

5 「何を選びますか？」



- トスはラケットトスで良い。
- 先にトスの勝者に、その後トスの敗者に聞く。(スコアカードに記入する)
- トスの勝者に次の1つを選択させる。
 - (a) サーバーか、レシーバーの選択
 - (b) エンド(審判台からみて右側・左側)
 - (c) 相手に、上のa. bのどちらかを選ばせる
- サービスライン・アンパイア(ボール担当)はボールを主審に渡し、位置につく。
- 主審は選手がボールを打ってウォームアップを始めた瞬間に、ストップウォッチを作動させ、審判台に上がる。初戦のみウォームアップは3分なので、時間がきたら「Time」と言う。それ以外の場合はサービス4本のみ。
- その日の初対戦のみ3分のウォームアップが認められる。それ以外はサービス4本のみ。
- ウォームアップ中はボールをよく見て目を慣れさせる。
- フットフォールトをするクセがあるかをみておく。
- 3分経過、ウォームアップ終了。
- 試合開始が遅い場合は「Players Ready?」

3 試合時のアナウンス

①試合開始…サーバーはa

「1 Tie-break set Match A高校 a to serve. Play!」

- 「～to serve」というサーバー名の紹介は、シングルスでは2名が1回目のサービスをする前に、ダブルスでは4名全員が1回目のサービスをする前に個人名をアナウンスする。
- タイブレーク時は、最初のサーバー名のみ紹介する。

②アドバンテージ時のアナウンス

「Advantage○○」 (○○=団体戦の時は学校名、個人戦の時は個人名)

- 団体戦では、学校名でアナウンスする。ただし、「○○高校」の「高校」は省略してもよい。
- 個人戦は個人名でアナウンスする。(ダブルスではサーバーもしくはアドバンテージサイドの選手の名前)

③ゲームを取った時のアナウンス

◆ 1 ゲーム終了時

「Game A, first game. C高校 c to serve.」

- アナウンスの手順は「Game」→「取った方の名」→「スコア」
- ゲームカウントのアナウンスはそのゲームを取得したポイントの後に直ちに言う。次のゲームのサーバーがポジションにつく時ではない。

◆ 2 ゲーム終了以降

「Game C, one all.」

「Game A, A leads 2-0(two-love).」

- チェンジエンドの時間は90秒以内である。60秒経過で「Time！」, 75秒経過でポジションについていない場合「fifteen seconds」とアナウンスする。

④ 6 オール時のアナウンス

「Game C, 6 all, tie-break, A高校 a to serve.」

⑤ タイブレーク時のアナウンス

「1-0 (one-zero), A.」「4-1 (four-one), A.」

- タイブレーク中のスコアは、最初にスコアをアナウンスし（大きい数字を先に）、次にリードしている学校（選手）をアナウンスする。

⑥ 試合終了のアナウンス

- ◆（Aがゲームカウントは7-6で勝利）

「Game, set and match A, Seven six.」

⑦ 勝者からサインをもらう

4 団体戦の全対戦終了時

《団体戦終了時の挨拶》

- ポイント決定コートの主審は勝者にサインをもらった後、R.U.に他のコートの結果を確認し、団体戦のポイントをまとめます。

1 「△番コートのサービスラインにお並び下さい。」

- 団体戦の試合前の挨拶と同様に整列する。

2 「ただ今の試合は、ダブルス1-0、シングルス1-1、計2-1で〇〇高校の勝ちが決定致しました。礼！」

※スコアカードは3枚まとめて勝利チームの代表者に渡す。

5 注意事項

- ①アウト・フォルトのコールおよびスコアのアナウンスは観客に聞こえるように大きな声で行うこと。
- ②他のコートからボールが入ってきたらすかさず「Let（レット）」をかけ、ファーストサーブからやり直しをさせる。
- ③時間管理をしっかり行うこと。特に団体戦では監督のアドバイスが長引く傾向があるので、60秒経過したら「Time（タイム）」と告げること。時間になつても選手がプレーをしない場合は、「Let's play（レツツプレイ）」と言う。
- ④サーバーの足下をしっかり見てフットフォルトを取ること。
- ⑤ダブルスにおいてレシーバーのパートナーがサービスを打つ際に動くことは禁止されているので、動いた選手に「サービスを打つときに動かないで下さい」ということ。
- ⑥何かもめごとがあつたら手を振ってR.U.（ロービングアンパイア）を呼ぶこと。
- ⑦その日の初戦のみウォームアップを3分認めるので時間管理をしっかり行うこと。（団体戦の場合はチームの初戦のみ）
- ⑧怪我によるメディカルタイムアウト（治療の時間）は3分間認められる。プレー中の打撲・ねんざ・ケイレン・鼻血などが対象となるが、あくまでセルフリートメント（自分で治療すること）が基本で、他の人が怪我した選手にさわると失格になる可能性がある。選手がメディカルタイムアウトを要求したら帽子を振りR.U.（ロービングアンパイア）を呼ぶこと。